

「踏みしめて」第44号

～町の様子を皆様に伝えていきます～



亀澤 進

ソチオリンピックは大変盛り上がっていますね。国民に夢や希望を持たせてくれる。本当に皆さんよく頑張っています。特に日本最年少でメダルを獲得した平野歩夢選手15才、スキージャンプ最年長でメダルを獲得した葛西紀明選手41才、日本社会の現状を物語る、日本ならではの記録ではないでしょうか。

さて今号は、2月の臨時会で決まった議案を主にご報告いたします。

第8回森町の明日を語ろう会は、3月5日（水）19時から下宿公会堂です。ぜひご参加ください。

15億7,758万7千円を前倒し！

国の補正予算「好循環実現のための経済対策」が予算成立し、追加交付金の内示を受けました。

- ◆国庫補助6,908万円の内示を受け、3月29日15時供用開始予定の遠州森町スマートICと接続する広域農道（延長667m）の強化改築工事に1億1,510万円、案内標識設置工事（既存に追加5カ所、新設2カ所）に1,070万円を予算補正しました。
- ◆国庫補助800万円の内示を受け、天宮区画整理地内にある天宮公園の芝生整備（930㎡）に210万円、四阿（あずまや）1棟に600万円、ベンチ5基に200万円、遊具施設3基に900万円、インターロッキングブロック工（70㎡）に100万円を予算補正しました。
- ◆国庫補助1億9,445万4千円の内示を受け、総合体育館建設工事監理業務委託料に1,988万3千円、建設工事に13億4,980万4千円を予算補正しました。
- ◆国庫補助2,600万円の内示を受け、公共下水道事業平成26年度分の管渠整備工事に4,700万円（2.2ha）、舗装復旧工事（3,135㎡）に1,500万円を予算補正しました。

これらの事業に対し更に、補助金不足分に当たる地方負担に係る地方債（借入金）の50%が、後年度において交付税措置される予定となりました。

修繕費

- ◆電気保安協会の点検により、文化会館のキュービクル（高圧受電設備）内にあるサーキットブレーカー（真空遮断器）の不具合が発覚したため、113万4千円の修繕費が予算補正されました。
- ◆新年度より天方小学校の複式学級開設に伴い、より広く教室を活用するため、既決補正の100万円に60万円を増額補正しました。

建設位置変更 総合体育館

隣接住民の日照時間改善要望に配慮し、建設を予定している総合体育館の位置を15m西側へ移すこととなりました。これによる建物構造の変更はなく、駐車場の位置を変えたことで台数が増えました。

今回のケースは、地元への説明が不十分であったため起きたことと想定できます。今後においては、丁寧に説明をしていくとのことでした。

災害医療推進！

国庫補助545万3千円と県費補助150万円を受けて、災害に強い在宅医療連携拠点事業を開始することとなりました。

それに伴い、在宅医療連携室を設置し、ポータブル心電計やポータブル超音波診断装置等を購入することとなりました。

介護報酬改定

4月1日より消費税が8%に引き上げられることに伴い、施設・事業所に実質的な負担が生じないよう、介護報酬が改定されることとなりました。

それに伴い、保険者システムの改修が必要となることから、システム改修委託料149万7千円を予算補正しました。

視察研修 吉田町議会

2月5日に吉田町役場で吉田町議会との意見交換会を実施しました。人口増加が右肩上がり、平成2年から比較すると、5千人以上の増加が見られることと(30,250人 H25.3/31 現在)、県の「内陸のフロンティアを拓く取組」にいち早く取り組んだことなどから、視察を兼ねて意見交換をしてきました。

土地の大半が平地で海岸線にある地理条件を活かして、早くから企業誘致や土地区画整理を実施したことが人口増加の要因であるとのことでした。

「内陸のフロンティアを拓く取組」については、東日本大震災により危機感を感じ、大学教授を招致して、「災害に強いまちづくり」を早急に推し進めたことが早期実現に至ったとのことでした。

副町長に国交省の人材を起用したり、アドバイザーとして東大教授を据えるなど、町長の手腕が現在の吉田町を作ったとのことでした。

議会としても議会基本条例を制定し、町民への議会報告会の実施や改善に向けた議会改革の推進など、議会の活性化に力を入れているとのことでした。

終了後、1基1,000人もの人が避難できる歩道橋を兼ねた津波避難タワーを視察しました。

森町との違いは一目瞭然ですが、議会が抱える問題や課題は大変類似していたため、盛会に意見交換ができました。

平成26年度中遠事務組合予算 議会報告

中遠事務組合の平成26年度予算は、歳入歳出それぞれ8億1,208万5千円となりました。加入市町の分担金は下表の通りとなりました。

(単位：千円)

	企画費分	衛生費分				建設費分	分担金合計
	基礎割合30% 人口割合70%	不燃物処理施設 (磐田市新貝) 搬入量割合	不燃物最終処分場 (袋井市宇刈) 定率割合	不燃物最終処分場 (森町一宮) 搬入量割合	衛生費 小計	基礎割合30% 人口割合70%	
磐田市	33,169	66,924	8,380	107,814	183,118	198,337	414,624
袋井市	15,769	53,650	9,337	61,670	124,657	94,294	234,720
森町	4,655	10,599	1,486	10,837	22,922	27,832	55,409
合計	53,593	131,173	19,203	180,321	330,697	320,463	704,753